

宛名シール

第 10 期

郵送

若年者

介護予防日常生活圏域ニーズ調査・高齢者等実態調査
(若年者)
【調査票】

市民のみなさまには、日頃から、行政に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では市民の皆さまが、お住まいの地域で、共に支えあい、安心して、いきいきと暮らすことができる環境づくりを実現するために、令和8年度末を目途に「次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたします。

この計画策定にあたりまして、市民の皆さまが福祉や地域の生活、日々の生活課題について、どのように考えておられるのかをお聞かせいただくために、40-64歳以上の方の中から無作為にアンケート調査をお願いすることといたしました。

お答えいただきました内容につきましては、計画策定等、政策づくりに使用させていただくほか、必要に応じて個々人への支援を行うための情報収集に活用させて頂きます。その場合であっても、個々の調査票を関係者以外に公表したり、目的以外に使用することは一切ありません。

本調査はそのための貴重な資料とさせていただきますので、趣旨をご理解のうえご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年12月
伊佐市 長寿介護課 介護保険係

調査票記入の際のご注意

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、

12月26日(金)までに投函してください。

※以下は調査対象者のご本人の情報を記入してください。

記 入 日	令和 年 月 日
居住 地 域	1 大口地区 2 菱刈地区
年齢・性別	() 歳 男 ・ 女

調査に関してのお問合わせ先

伊佐市 長寿介護課 介護保険係
〒895-2511 伊佐市大口里 1888 番地

☎ 0995-23-1311 (内線 1226)

高齢者等実態調査（若年者）

問1 あなたの世帯の状況について、お尋ねします。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 一人暮らし世帯（同居者なし）
- 2 夫婦二人暮らし世帯
- 3 夫婦と子ども（未婚）の世帯
- 4 その他の世帯（3世代同居、兄弟・親と同居など）

日常生活の様子について、お尋ねします。

問2 あなたの現在のお住まいについて、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 持家一戸建て | 2 借家一戸建て |
| 3 分譲マンション | 4 公団・公社住宅 |
| 5 県営住宅 | 6 市町村営住宅 |
| 7 賃貸マンション・アパート | 8 社宅・官舎 |
| 9 間借り・住み込み | 10 その他 |

問3 将来（高齢期）、あなたが希望する生活場所についてお尋ねします。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 現在の住居にずっと住み続けたい
- 2 買い物や通院に便利な市街地に住居を買って（借りて）移り住みたい
- 3 自然豊かで静かな環境の郊外に住居を買って（借りて）移り住みたい
- 4 家族や親族、兄弟姉妹のところへ移り住みたい
- 5 有料老人ホーム等へ移り住みたい
- 6 高齢者対応の住宅やアパートに移り住みたい
- 7 介護保険施設に入所したい
- 8 わからない

問4 あなたは、将来（高齢期）の生活に不安を感じますか。
不安に感じることはどのようなことですか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 自分や配偶者の健康や病気のこと
- 2 自分や配偶者が介護を必要とする状態になること
- 3 頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること
- 4 生活費や老後の蓄えのこと
- 5 家屋、土地・田畠やお墓などの財産管理や相続のこと
- 6 家族・親族との人間関係のこと
- 7 隣近所、友人との付き合いのこと
- 8 子ども、孫などの将来のこと
- 9 だまされたり、犯罪に巻き込まれること
- 10 社会の仕組み（法律、税、社会保障、金融制度）や人々の価値観が大きく変わってしまうこと
- 11 不安は感じない

ふだんの近所づきあいについて、お尋ねします。

問5 あなたのお住まいの地域には、地域のつながりがあると感じますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1 とても感じる | 2 少し感じる | 3 あまり感じない |
| 4 感じない | 5 わからない | |

問6 この中に、あなたのお住まいの地域で行われていることがありますか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 近隣同士でよく挨拶や立ち話をしている
- 2 困ったときは近隣同士で助けあっている
- 3 講や結（ゆい）など伝統的なつながりが残っている
- 4 地域の回覧板・掲示板などがよく活用されている
- 5 町内会・自治会・子ども会などの地縁団体の活動が活発に行われている
- 6 公民館や集会所など気軽に集まれる場所があり、よく利用されている
- 7 ボランティアやNPOの活動が活発に行われている
- 8 行政が主催するイベントに住民が積極的に参加している
- 9 学校等が実施している行事等に住民が積極的に参加している
- 10 行われていることはない（よく知らない）

問7 あなたのお住まいの地域における、一人暮らしの高齢者や認知症の方など援護を要する世帯への安否確認や見守り活動の状況について、どのように感じますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 十分に行われていると思う
- 2 どちらかといえば行われていると思う
- 3 どちらかといえば不十分だと思う
- 4 ほとんど行われていないと思う
- 5 わからない

社会参加・生きがいについて、お尋ねします。

問8 あなたは、現在、どの程度「生きがい」を感じていますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 十分感じている | 2 多少感じている |
| 3 あまり感じていない | 4 まったく感じていない |
| 5 わからない | |

問9 あなたが生きがいを感じるのはどんなときですか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 仕事に打ち込んでいるとき
- 2 趣味やスポーツ・レクリエーション活動に熱中しているとき
- 3 勉強や教養を高めるための活動に取り組んでいるとき
- 4 夫婦団らんのとき
- 5 子どもや孫など家族との団らんのとき
- 6 友人や知人と食事、雑談をしているとき
- 7 テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
- 8 ボランティアや地域の活動をしているとき
- 9 旅行に出かけたとき
- 10 生きがいを感じることはない
- 11 その他（ ）

問10 あなたは、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

(1)ボランティアのグループ					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(2)スポーツ関係のグループやクラブ					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(3)趣味関係のグループ					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(4)町内会・自治会					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(5)学習・教養サークル					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(6)その他の団体や会					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			

問11 あなたは、以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度で
していますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

(1)見守りが必要な高齢者を支援する活動					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(2)介護が必要な高齢者を支援する活動					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(3)子どもを育てている親を支援する活動					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(4)地域の生活環境の改善（美化）活動					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 参加していない			
(5)収入ある仕事					
1 週4回以上	2 週2～3回	3 週1回			
4 月1～3回	5 年に数回	6 していない			

問12 「あなたのまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
以下の状況について、あてはまるすべての人に○をしてください。あてはまる人がいない場合は、「8 そのような人はいない」に○をつけてください。」

(1)あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他	8 そのような人はいない	
(2)反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他	8 そのような人はいない	
(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他	8 そのような人はいない	
(4)反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）		
1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他	8 そのような人はいない	

問13 あなたは、家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手がいますか。
いる場合には、相手は誰ですか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

1 自治会・町内会	2 社会福祉協議会・民生委員
3 ケアマネジャー	4 医師・歯科医師・看護師
5 地域包括支援センター	6 保健所・保健センター
7 役所・役場	8 その他
9 そのような人はいない	

問14 あなたは、今後、ひとり暮らしで見守りが必要な高齢者や、介護が必要な高齢者を支援するための地域活動やボランティア活動などに参加していきたいと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

1 積極的に参加していきたい
2 できるだけ参加していきたい
3 機会があれば、参加してもよい
4 あまり参加したくない
5 既に参加している

問15 地域のためのボランティア活動などに参加する上で、県や市町村はどのようにごとに取り組む必要があると思いますか。
あてはまる番号に2つまで○を付けてください。

- 1 活動に関する情報をもっと提供する
- 2 参加しやすい体制を整備する
- 3 指導者の養成、活動者の確保のための機会を充実する
- 4 施設を利用しやすくする
- 5 活動のための施設を整備する
- 6 活動者のための保険制度を普及する（ボランティア保険）
- 7 資金的援助をする
- 8 特にない
- 9 その他

就労について、お尋ねします。

問16 あなたは、現在、収入を得られる仕事をしていますか。
仕事をしている場合には、一般論として、何歳ぐらいまで収入のある仕事をするのがよいと思いますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|------------|---------------|
| 1 60歳くらいまで | 2 65歳くらいまで |
| 3 70歳くらいまで | 4 75歳くらいまで |
| 5 80歳くらいまで | 6 働けるうちはいつまでも |
| 7 仕事をしていない | |

健康について、お尋ねします。

問17 あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1 とても健康 | 2 まあまあ健康 |
| 3 あまり健康でない | 4 健康でない |

介護保険について、お尋ねします。

問18 介護保険料の基準額は、3年に1度見直します。お住まいの市町村全体でどの程度サービスが必要かによって決まります。（介護サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりの利用額が増えると、額は高くなります。）その上で、所得に応じて個々人の保険料額が決まります。

以上のことについてご存じでしたか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく理解している | 2 だいたい理解している |
| 3 あまり理解していない | 4 ほとんど理解していない |
| 5 わからない | |

問19 今後も高齢化が進み、介護保険サービスのニーズはますます増えていくことが予想されますが、介護保険料とサービスの水準との関係について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | |
|--|
| 1 現在の介護保険サービス水準を維持するために必要な範囲内での介護保険料の引き上げであればやむを得ない |
| 2 もっと介護保険サービスを充実するべきであり、そのために介護保険料が引き上げられてもやむを得ない |
| 3 介護保険料を現状維持又は引き下げる事が重要であり、そのためには介護保険サービスが削減されてもやむを得ない |
| 4 わからない |

問20 あなたは、これまでに、両親や配偶者などの家族（同居、別居を問いません）の介護の経験がありますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|------------|--------|
| 1 介護の経験がある | → 問21へ |
| 2 介護の経験がない | → 問24へ |

問21 問20で「1」に○を付けた方にお尋ねします。

あなたは、これまでに、両親や配偶者などの家族（同居、別居を問いません）の介護を理由に、仕事を退職したり、休職したことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1 仕事を退職した | } | → 問22へ |
| 2 仕事を休職した | | |
| 3 仕事を休職したが介護が終わり復職した | | → 問23へ |
| 4 仕事を退職したり休職したりしたことない | | |

問22 問21で「1～3」に○を付けた方にお尋ねします。

退職又は休職した年齢はいくつですか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | | |
|----------|----------|
| 1 20～29歳 | 2 30～39歳 |
| 3 40～49歳 | 4 50～59歳 |
| 5 60歳～ | |

問23 子育てと親の介護が同時進行となる状態を表す言葉として『ダブルケア』という言葉がありますが、ダブルケアに直面したことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|-------------------------|---|--------|
| 1 現在、ダブルケアに直面している | } | → 問25へ |
| 2 過去にダブルケアを経験している | | |
| 3 現在直面しており、過去にも経験がある | | |
| 4 数年先にダブルケアの状態になる可能性がある | | |
| 5 ダブルケアに直面したことはない | | |

問24 将来（高齢期）、あなたが介護を受けることになった場合、どのような介護を受けたいですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|--|---|--------|
| 1 自宅で家族中心の介護を受けたい | } | → 問25へ |
| 2 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせた介護を受けたい | | |
| 3 家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい | | |
| 4 有料老人ホームや高齢者向けの住宅に引っ越しして介護を受けたい | } | → 問26へ |
| 5 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい | | |

問25 問24で「1～3のいずれかに○を付けた方」にお尋ねします。

「在宅で介護を受けたい」と思う理由について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 家族と一緒に過ごしたいから
- 2 友人・知人がまわりにいるので離れたくないから
- 3 住み慣れた家を離れたくないから
- 4 介護施設や有料老人ホームなどに入所、入居したいが経済的に困難だから
- 5 介護施設や有料老人ホームなどに入所、入居したいが、希望する施設に空きがないと思うから

問26 今後、あなたが、仮に自宅で介護を受けることになった場合、誰に介護を頼みたいですか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 配偶者 | 2 子ども |
| 3 子どもの配偶者 | 4 兄弟姉妹などの親族 |
| 5 孫 | 6 ヘルパーなどの介護専門職 |
| 7 頼める人・頼みたい人はいない | 8 その他 |
| 9 分からない | |

問27 あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）について、どのくらい知っていますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 よく知っている
- 2 聞いたことはあるがよく知らない
- 3 知らない

問28 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等（※）や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

※「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人・知人）を含みます。

- 1 詳しく話し合っている
- 2 一応話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問29 あなたが最期を迎える場所はどこですか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 病院などの医療施設 | 2 自宅 |
| 3 子どもの家 | 4 兄弟姉妹など親族の家 |
| 5 高齢者向けのケア付き住宅 | 6 特別養護老人ホームなどの福祉施設 |
| 7 その他 | 8 わからない |

問30 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 新聞 | 2 雑誌 |
| 3 書籍 | 4 テレビ |
| 5 ラジオ | 6 インターネット |
| 7 研修会や講演会 | 8 医療機関・介護施設 |
| 9 自治体（都道府県・市町村） | 10 その他（ ） |

介護予防への取組について、お尋ねします。

問31 あなたは、「介護予防」（※）という言葉を聞いたことがありますか。
聞いたことがある場合に、どのような機会・場所で知りましたか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 チラシ・パンフレット | 2 講演会 |
| 3 テレビ・ラジオ | 4 新聞・雑誌 |
| 5 医療機関・薬局 | 6 特定健康診査等の健診会場 |
| 7 県や市町村、地域包括支援センターの取組 | 8 NPO法人の活動 |
| 9 老人クラブの活動 | 10 家族・友人・知人 |
| 11 その他 | 12 聞いたことがない |

※「介護予防」とは、健康な生活を長く続け、介護を受ける状態にならないようにすること。また、介護が必要になった場合に、それ以上度合いが増さないように改善していくことをいいます。

問3 2 あなたは、将来（高齢期）、要介護状態にならないための運動や健康づくりについて、どのようなことに取り組んでみたいですか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 スポーツクラブ等で運動
- 2 自宅や自宅周辺で手軽にできる運動や健康づくり
- 3 転倒予防など、事故を避けるための知恵やコツを習得する
- 4 食生活の改善
- 5 歯みがきや義歯（入れ歯）の手入れ方法などを習得する
- 6 認知症の予防についての知識を習得する
- 7 その他
- 8 取り組んでみたいものは特にない

問3 3 あなたは、将来（高齢期），要介護状態にならないための運動や健康づくりに実際に取り組んでいますか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 スポーツクラブ等で運動
- 2 自宅や自宅周辺で手軽にできる運動や健康づくり
- 3 転倒予防など、事故を避けるための知恵やコツを習得する
- 4 食生活の改善
- 5 歯みがきや義歯（入れ歯）の手入れ方法などを習得する
- 6 認知症の予防についての知識を習得する
- 7 その他
- 8 特に何もしていない

問3 4 介護予防のための取組について、今後、県や市町村において特にどのような取組に力を入れてほしいですか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 運動・転倒予防に関するここと
(筋肉を使う運動、バランストレーニング、有酸素運動、ストレッチなど)
- 2 栄養改善に関するここと
(低栄養状態や病気の予防のための食事内容や調理方法など)
- 3 口腔機能向上に関するここと
(口腔の健康を保つための指導や摂食・嚥下機能（飲み込み）など)
- 4 閉じこもりの予防・支援に関するここと
(居宅に閉じこもりがちな人に対し、交流の場の提供や地域における趣味やボランティア活動などへの参加を促すこと)
- 5 認知症の予防・支援に関するここと
(認知症予防に関心のある人や軽度の認知障がいのある人に対し、認知機能訓練や趣味活動等のプログラムを行うことなど)
- 6 うつ病の予防・支援に関するここと
(心の健康相談や訪問による個別支援等を行うこと)

認知症についてお尋ねします。

問3 5 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問3 6 あなたは、「認知症」について、不安なことや心配なことがありますか。
不安なことや心配なことがある場合には、認知症についての不安や心配は
どのようなことですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 自分のことで、最近「もの忘れ」があり認知症ではないかと心配である
- 2 家族のことで、最近「もの忘れ」が多くなるなど「おかしいな？」と感じるが、
単なる「もの忘れ」なのか、認知症なのかわからない
- 3 自分や家族が認知症にならないか心配である
- 4 心配事を相談したくてもどこに相談したらよいかわからない
- 5 認知症になったときの対応や介護の仕方がわからない
- 6 その他
- 7 不安なことや心配なことはない

問3 7 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。
知っている場合に、どこの相談窓口を知っていますか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 地域包括支援センター
- 2 市町村
- 3 保健所
- 4 医療機関
- 5 認知症疾患医療センター
- 6 認知症の人と家族の会
- 7 その他
- 8 知らない

問3 8 あなたは、もし認知症と思われる方が近くにいたら、どのように接したいと思しますか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 ご家族に声をかけ相談にのる
- 2 民生委員に相談する
- 3 地域包括支援センターや市町村に相談する
- 4 どう接して良いかわからないので、特に何もしない
- 5 本人、家族が気の毒なのでそっとしておく
- 6 その他

問3 9 あなたは、「若年性認知症」（※）という言葉を聞いたことがありますか。
聞いたことがある場合に、どのような機会・場所で知りましたか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 チラシ・パンフレット | 2 講演会 |
| 3 テレビ・ラジオ | 4 新聞・雑誌 |
| 5 医療機関・薬局 | 6 特定健康診査等の健診会場 |
| 7 県や市町村、地域包括支援センターの取組 | 8 NPO法人の活動 |
| 9 老人クラブの活動 | 10 家族・友人・知人 |
| 11 聞いたことがない | |

※「若年性認知症」とは、65歳未満で発症する認知症をいいます。
若年性認知症は、現役世代で発症し高齢者の認知症と比較して進行が早いため、親の介護や子育て等、患者本人の生活環境に大きく影響します。

問4 0 あなたは、認知症サポーター（※）について知っていますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 認知症サポーター養成講座を受けたことがある
- 2 言葉は聞いたことがある
- 3 聞いたことがない

※「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者のことです。市町村や職域などで実施されている認知症サポーター養成講座の受講が必要となります。

問41 問40で「1に○を付けた方」にお尋ねします。
認知症センター養成講座を受講後に、どのような活動を行いましたか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 認知症カフェ・サロンの開催または参加
- 2 認知症の方や家族への声かけ
- 3 地域の見守り活動への参加
- 4 「認知症センター養成講座」の開催協力
- 5 SOSネットワーク等へ協力者としての登録
- 6 通所施設、入居施設等の行事協力
- 7 自分が働く店舗等へ来店する認知症の方への配慮
- 8 その他
- 9 活動をしたことがない

問42 下の文章について、あなたの考えに近い選択肢をそれぞれ1つだけ○をつけてください。

「誰もが認知症になりうる」

- 1 そう思う
- 2 どちらかというとそう思う
- 3 どちらかというとそう思わない
- 4 そう思わない

「認知症になってからも意思が尊重され、望む生活が継続できる（できている）」

- 1 そう思う
- 2 どちらかというとそう思う
- 3 どちらかというとそう思わない
- 4 そう思わない

「認知症になってからもできることややりたいことがある」

- 1 そう思う
- 2 どちらかというとそう思う
- 3 どちらかというとそう思わない
- 4 そう思わない

「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けることができる」

- 1 そう思う
- 2 どちらかというとそう思う
- 3 どちらかというとそう思わない
- 4 そう思わない

「認知症になってからも希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

- 1 そう思う
- 2 どちらかというとそう思う
- 3 どちらかというとそう思わない
- 4 そう思わない

問4 3 認知症に関する取組について、今後強化してほしいと思うものを3つ選んでください。

- 1 認知症の人の経験を知る機会の確保
- 2 こども・学生が認知症の理解を深める機会の確保
- 3 「新しい認知症観」（※）など認知症に関する知識の普及・啓発
- 4 店舗やサービスを気兼ねなく利用できる環境の整備
- 5 気軽に相談できる体制の整備
- 6 認知症になっても働くことができる環境整備や居場所づくり
- 7 声かけ、見守り、買物支援などの地域活動の推進
- 8 家族同士の交流の場の確保や家族への情報提供等の支援
- 9 認知症の人の意思決定や権利を守るためにの取組の情報提供や支援の充実
- 10 保健・医療・福祉・介護等の専門職の資質向上
- 11 必要な医療・介護を受けることができる体制の整備
- 12 早期診断や診断後の支援の推進

※「新しい認知症観」とは、認知症になつたら何もできなくなるのではなく、一人一人が個人としてできることやりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

権利擁護について、お尋ねします。

問4 4 成年後見制度（※）についてご存じですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な人が、生活をする上で不利益を被らないよう判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度です。

- 1 知っており、利用したことがある（している）
- 2 詳しく知っている
- 3 概要を知っている
- 4 名前を聞いたことがある
- 5 知らない

問4 5 将来、あなたの判断能力に不安が生じた時、成年後見制度を利用したいと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 利用したい
- 2 利用したくない
- 3 わからない

高齢社会対策への取組について、お尋ねします。

問4 6 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域づくりに向けて、県や市町村は、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものに3つまで○を付けてください。

- 1 高齢者の生きがいづくり・ボランティア活動など様々な社会活動への参加促進
- 2 高齢者が生涯働き続けられる環境づくり
(就労の場の確保、技術・技能・経験を活かした就労のあっせん、支援の仕組みづくり等)
- 3 健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組
- 4 在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備
- 5 特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備
- 6 地域における見守り活動の促進
- 7 成年後見制度や高齢者虐待防止など高齢者の権利擁護
- 8 高齢者に対する犯罪（窃盗、詐欺等）や交通事故防止の対策
- 9 高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備
- 10 高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等（道路を含む）におけるバリアフリー化

独自1 日々の暮らしについて

(1) ご自宅で、ストレッチやトレーニング、軽い体操や散歩、ウォーキングなどを行っていますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 週に2回以上行っている | 2. 週に1回程度行っている |
| 3. 月に1~2回程度行っている | 4. 全く行っていない |

(2) 高齢者福祉の推進に住民同士の支え合い、助け合いが必要だと思いますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 思う | 2. ある程度は思う |
| 3. あまり思わない | 4. 思わない |

(3) 本市では、高齢者が安心して暮らすことができると思いますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 思う | 2. ある程度は思う |
| 3. あまり思わない | 4. 思わない |

(4) あなたは、将来も、いまのまちに暮らし続けたいと思いますか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 喀らし続けたい | 2. できれば暮らし続けたい |
| 3. あまり暮らし続けたくない | 4. 喀らしたくない |

独自2 食事について

(1) あなたは、1日に3回食事をしていますか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4~5日 |
| 3. 週に2~3日 | 4. ほとんどない |

(2) あなたは、主食（ごはん、パン、麺などの料理）・主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）・副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）を3つそろえて1日2回以上食べることが週に何日ありますか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4~5日 |
| 3. 週に2~3日 | 4. ほとんどない |

(3) あなたの食事の準備は、ふだん誰がおこなっていますか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 自分で材料から調理する | 2. 家族が調理する |
| 3. スーパーのお惣菜を購入している | 4. コンビニのお弁当を購入している |
| 5. 配食サービスを利用している | 6. 宅配事業に依頼している |
| 7. ヘルパーさんが調理する | 8. その他() |

独自3 高齢者福祉の取り組みについて

(1) 前期計画において、以下のような施策の方向性を持って、これまで各種事業に取り組んできました。以下の視点で事業を評価した場合に、あなたが感じている満足度をそれぞれ1つずつ選んでください。

施策の方向性と基本事業	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満
① いきいきと暮らすことができる 社会参加・生きがいづくり、地域での支え合い体制や活動の場の充実を図ることで、健康づくり・介護予防を推進しています。 また、医療・保健・介護などの各種団体、ボランティアや地域の方と協働して、支えあいの体制づくりを推進しています。	1	2	3	4
② ともに支え合い暮らすことができる 生活支援体制の整備、地域包括支援センターの充実、認知症施策の推進により認知症の方やその家族への支援など行っています。	1	2	3	4
③ 安心・安全に暮らすことができる 高齢者安心生活サービス、医療と介護の連携、権利擁護の推進と高齢者虐待の防止、交通安全・防犯対策の推進など行っています。	1	2	3	4
④ 住み続けることができる 在宅生活を続けることができるよう、地域包括支援センターを中心とした相談支援体制の確保と、高齢者の心身の状況に応じた施設の整備を行っています。	1	2	3	4
⑤ 質の高いケアを受けることができる 仮に介護が必要となったとしても、本人の希望する場所で質の高い介護を受けることができる支援体制の確保を図るとともに、質の向上に向けた取組を行っています。	1	2	3	4

調査は以上です。たくさんの質問にお答えいただき、ありがとうございました。